

近年の温暖化に伴うモモ「あかつき」の生育の前進

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－生育診断予測

2 担当者名

志村浩雄、高橋堯之、尾形亜希子、岡田初彦

3 要旨

近年の温暖化により、モモ「あかつき」の生育期の気温が上昇し、開花期、収穫期が前進している。

- (1) 1976年～2015年の40年間における2～7月の平均気温は、平均で10か年ごとに0.3℃上昇しており、モモ「あかつき」の生育は、平均で10か年ごとに満開日が1.0日、収穫盛期日が1.7日前進している(図1)。
- (2) 以後、2016年～2023年の8年間は、2006年～2016年の10か年間に比較して、平均気温が0.8℃上昇しており、モモ「あかつき」の生育は、満開日が11日、収穫盛期日が9日と顕著な前進が見られる(図1)。
- (3) 気温及びモモ「あかつき」の生育データは、果樹研究所における1976年～2023年の観測値を用いた。

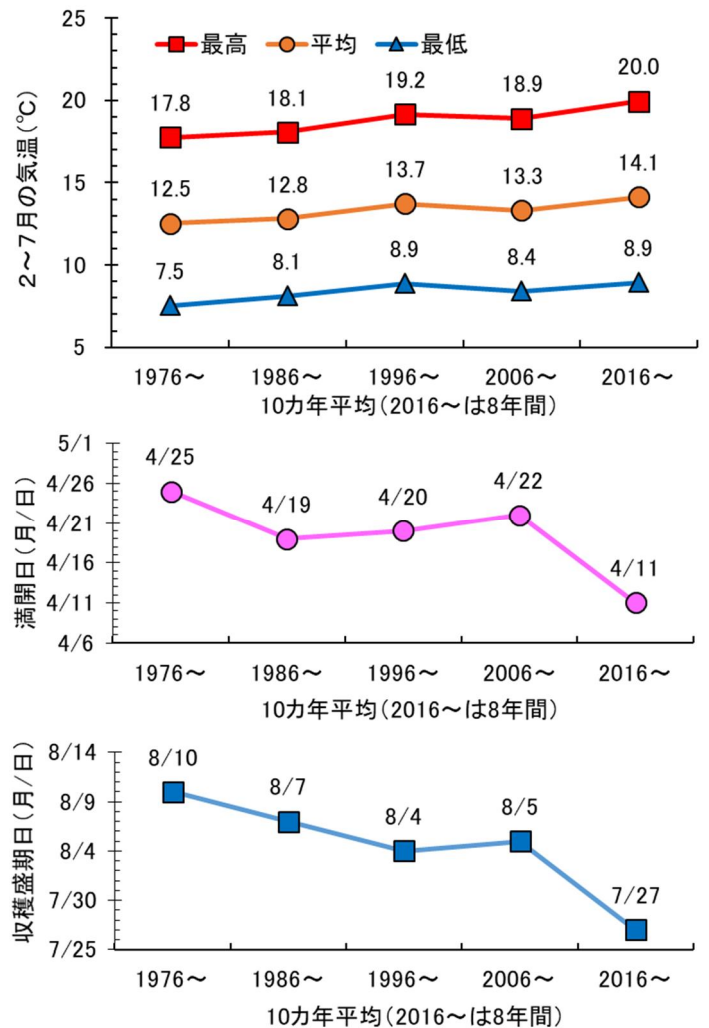


図1 2～7月の気温の上昇とモモ「あかつき」の生育

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 温暖化に対応した果樹の生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 安達義輝他, 温暖化傾向における果樹の生育速度(DVR)モデルの検証 福島農総セ研報 9, 11-12, 2018